

2020年9月30日

各 位

住 所	東京都港区港南二丁目 15 番 3 号
会 社 名	NEC キャピタルソリューション株式会社
代 表 者 の 名	代 表 取 締 役 社 長 今 関 智 雄
役 職 氏 名	(コード番号: 8793 東証第一部)
問 合 せ 先	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 部 長 児 玉 誠 一 郎
電 話 番 号	0 3 - 6 7 2 0 - 8 4 0 0 (代 表)

「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG/SDGs 評価融資」による資金調達実施について

当社は、株式会社三井住友銀行(頭取 CEO:高島 誠)による「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG/SDGs 評価融資(※1)」において高い評価を得て、同評価に基づく資金調達契約を締結しましたのでお知らせします。なお、本ポジティブ・インパクト金融による融資契約の締結は、国内金融サービス業において初めてとなります。

1. 本件取り組みの背景と目的

近年、機関投資家を中心に、企業の財務情報には現れない企業価値を示す、ESG(※2)側面への取り組み等の非財務情報やSDGs(持続可能な開発目標)(※3)達成への貢献に対する注目が高まっています。

当社グループは、グループビジョンとして、「お客様と共に、社会価値向上を目指して、グローバルに挑戦するサービス・カンパニー」を掲げ、CSV(※4)経営実現に向けた様々な取り組みを行っております。その一環として「ポジティブ・インパクト金融原則適合型 ESG/SDGs 評価融資」の実施により、資金調達とともにESG側面での取り組み及び情報開示の向上を図っています。

2. 当社の評価

「環境配慮型の製品・サービスにおける取り組み」「ローカル／グローバル・コミュニティへの配慮」「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」において高い水準であると判断されました。企業経営において大変優れたESG側面の取組と情報開示を実施し、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いと評価を受けました。

ESG配慮及びSDGs達成への取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

E: 業績目標の中で「環境目標」を明記し、社員一人一人がより明確に環境目標を意識できるようにしている点、また、再生可能エネルギー発電への取り組み機会を拡大するなど、再生可能エネルギーの普及に貢献している点

S: 地域コミュニティの課題解決に向けて、農業の6次産業化のほか、地元企業等と協働しながら、地域の観光資源を活用した地域活性化等を推進している点

G: 「CSV 経営の実現」をグループビジョンに掲げ、事業活動を通じて、サステナブルな企業経営に取り組む姿勢を明確にしている点

SDGs: CSV 経営の実現に向け、社会・ICT インフラの整備、地域社会・経済の活性化、地球温暖化の防止、高齢社会への対応を主に取り組む社会価値向上のテーマと定めて取り組みを強化し(インプット)、その実施(アウトプット)を通じて社会課題を解決(アウトカム)し、SDGsが示す「目標7」「目標8」「目標9」「目標11」「目標12」「目標13」「目標17」等の達成に貢献している点

3. 本評価融資における当社の取り組み項目

当社は、「ポジティブ・インパクト金融原則適合型ESG/SDGs評価融資」における、企業の事業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクトとして、以下の重点取り組み項目・評価指標を設定しています。

	重点取り組み項目	評価指標	貢献する主な SDGs
①	環境マネジメント	エコリース成約高	
②	女性管理職比率向上	2023 年 4 月 2 日時点の管理職候補者層（アシスタントマネージャー）の女性比率 20.0%以上	
③	共創価値（CSV）を生み出す社内マインドの醸成	さらなるグループビジョンの理解浸透活動件数	
④	ローカルコミュニティへの配慮	官公庁・自治体との賃貸・割賦成約高	

4. 融資の概要

契約金額 400 億円

当社は引き続き、事業活動そのものが社会的価値を創造すると同時に、企業として求めるべき経済的価値を創出し、社会と企業双方に共通の価値を生み出す CSV 経営に取り組んでまいります。

以 上

<ご参考>

(※1) ポジティブ・インパクト金融原則適合型ESG/SDGs評価融資

株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所(代表取締役社長:谷崎 勝教)が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG(※2)側面の取組や情報開示、SDGs(持続可能な開発目標)(※3)達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元する融資商品です。企業の事業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、サステナビリティ経営の実現に向けた活動を継続的に支援することを目的とした、ポジティブ・インパクト金融原則(※5)及びモデル・フレームワーク(資金使途を特定しない企業向け金融商品)に適合した融資

商品として、三井住友銀行が第三者認証機関である DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社(代表取締役社長:前田 直樹)よりセカンド・オピニオンを取得しています。

(※2) ESG

ESGとは環境(Environmental)、社会(Social)、企業統治(Corporate Governance)の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

(※3) SDGs

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

(※4) CSV

Creating Shared Value の頭文字を取ったもので、「共通価値の創造」を意味し、経済利益活動と社会的価値の創出(=社会課題の解決)を両立させることです。

(※5) ポジティブ・インパクト金融原則

SDGsの達成に向け、金融機関が積極的な投融資を行うための原則として、2017 年 1 月に国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)により策定されたものです。資金提供先企業のネガティブな影響を軽減し、現実的かつ信頼性のある方法でポジティブな影響を高めるための資金提供のあり方を定めており、「定義」、「枠組み」、「透明性」、「評価」の4つの原則で構成されています。